

「英語でなかよし」が今年度のUNITY地域交流事業に

他大学の学生さんも運営に加わっています。



「英語でなかよし」は小学5, 6年生に英会話の楽しさを伝える活動ですが、今年度後期からは流通科学大学の学生さんも学生リーダーとして参加。子どもたちにとってはいろんな人と英語で話す機会が増え、学生同士も活動を通じて交流しています。

中学生とSDGs勉強会

11月30日(水曜)伊丹市立南中学校3年生のSDGs勉強会の一環として、SOCIO系学生サークル5団体が各活動の紹介を行いました。南中学校の生徒さんたちは事前に7時間の調べ学習をしていただけあって、どの発表もメモを取りながら熱心に聞いてくれました。

本学学生にとっても、自分たちの活動に高い関心を示してくれる中学生の反応に励まされ、また、普段の活動を改めて見直すよい機会となりました。



学生団体と発表のテーマ

1. Voice up Japan 「生理の貧困」
2. MANA 「フェアトレードとSDGs」
3. TRY 「TRYの難民支援について」
4. Green Voice 「GreenVoice活動報告」
5. ボランティアコーナー
「ボランティアコーナー学生スタッフのSDGsな取り組み紹介」



中学生の感想から

- ・日本は安全に暮らせる国と思っていたが、日本でも過酷な暮らしを強いられている難民がいることに驚き、一刻も早くこの状況を改善したいと感じた。
- ・フェアトレードが17のSDGsのほぼすべてに貢献できると知って、周りの人にも広めたいと思った。
- ・世界で、そして日本でも、自分たちにとって当たり前前の生活がそうじゃなく、辛い思いをして過ごしている人がたくさんいることが分かった。
- ・どのグループもそれぞれ違った問題に目を向けていましたが、共通するのは「一人一人が理解し、行動すること」だと思いました。
- ・すべての目標がきつとまわりまわって、自分のことにつながるんだらうなと改めて感じた。
- ・世界が抱えている大きな問題に、自分は関係ないなんて思わず、できることをしたいと心から思います。

お知らせ

4月より、神戸市外国語大学と神戸市立工業高等専門学校の同一法人下での運営が始まります！

既にお知らせのとおり、2023年4月より神戸市外国語大学(以下、神戸市外大)と神戸市立工業高等専門学校(以下、神戸高専)の同一法人下での運営が開始されます。これに伴い、1つの法人で神戸市外大と神戸高専の2校を運営するのに相応しい法人名称として、法人名が「公立大学法人神戸市外国語大学」から「神戸市公立大学法人」に変更されます(大学名に変更はありません)。

神戸市外大と神戸高専、それぞれの学校としての独立性は維持していきますが、兄弟校になることで新たな取組ができるように、学生みなさんのご意見を伺いながら、一緒に考えていけると幸いです。

- 学生の希望に沿った部活動の合同練習
- ボランティア・環境保全活動の連携
- 協同イベント 等

学生、および関係者の皆さまにはご意見を頂戴するなど、ご協力を仰ぐことも多々あると思いますが、引き続き当法人の運営にご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。



神戸市外大



神戸高専

本学教員の出版物紹介

教員名 北見 諭 (ロシア学科 教授)	教員名 林 範彦 (総合文化グループ 教授)	教員名 吉川 朗子 (英米学科 教授)
書名 〈超越性〉と〈生〉との接続	書名 参照文法書研究	書名 Guide to the lakes
出版社 水声社	出版社 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	出版社 Oxford University Press
出版年 2022.3	出版年 2022.3	出版年 2022
種別 共著	種別 共著	種別 単著